

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

  注意 感電の危険あり 本体をあげるな	 このマークは、感電の危険があることを警告しています。
注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないでください。	 このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

	△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。
	○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は強制（必ず行ってほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

 警告	
電源は必ずAC100Vを使う	 100V以外禁止
水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない	 濡れた手で触らない ※感電の原因になります。
ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない	 長時間禁止 ※聴力低下の原因になる恐れがあります。 ※付属のACアダプター、或いは当社推奨のものを使用してください。 ※ACコードの場合、電源電圧の異なるものを使用しないでください。 ※発火の恐れがあります。
本機を分解、修理、改造しない	 分解禁止 ※故障、感電、ショートの原因になります
電源プラグを抜くときには、必ずプラグ部分を持って抜く	 プラグ部分を持つ ※コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。
長時間ご使用しないときは必ず電源プラグを抜く	 プラグを抜く ※落雷時に火災の原因になります。 ※アダプター本体の温度が上がり、火災の原因になります。

⚠ 注意

本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
- 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- 戸外など極端に温度の低い場所
- 極端に湿度の高い場所
- 砂やホコリの多い場所
- 振動の多い場所



使用禁止

※故障の原因になります。

電池は「＋」「－」を間違えないようセットする

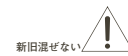


逆さし禁止

※思わぬ故障、液漏れの原因になります。

乾電池使用の場合

電池は新旧混ぜない



新旧混ぜない

※思わぬ故障、液漏れの原因になります。

乾電池使用の場合

電池は長時間使用しないときは外す



電池を外す

※思わぬ故障、液漏れの原因になります。

乾電池使用の場合

本機を落とさない



落とさない

※故障やけがの原因になります。

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う



電源を切る

※本機や接続機器の故障の原因になります。

本機の内部に異物を入れないようにする



異物を入れない

※水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない



他電気機器から離す

※本機が雑音を発する恐れがあります。
※本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用ください。

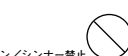
電源コード、接続コード類はからまないように接続する



からまないようにする

※コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

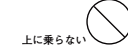
ベンジンやシンナーで本機を拭かない



ベンジン／シンナー禁止

※色落ちや、変形の原因になります。
※清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いてください。

本機の上に 乗ったり、圧力を加えない



上に乗らない

※変形したり、倒れる恐れあり、故障や、けがの原因になります。

保証書について

- 本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書には販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。
- 保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

修理について

- 万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。

VOCU Hand Wiring Parametric Equalizer

パラメトリック・イコライザーは、ゲイン・コントロールする周波数帯を自身で決定することのできる柔軟性の高いイコライザーです。Freq ノブでターゲットの周波数を探り、Q ノブで効き方を調整すれば、あとは Gain ノブで好みのバランスに調整するだけです。本機は1バンドの PEQ ですから、初心者の場合には全体の音色を整える用途よりは、ピンポイントで目立つ音色をつくる用途に適しているでしょう。使いこなしていくうちに、アンプのコンディションやライブハウスの特性に応じたトータル・サウンドの微調整にも役立てることができるでしょう。

Q

イコライザーの Q 幅を決定します。左 (Wide) に回すほど広い範囲の周波数に対してイコライジングでき、右 (Narrow) に回すほど狭い範囲の周波数に対してイコライジングできます。

Gain

イコライザー・ゲインのブースト / カットを決定します。時計方位 12 がフラット ($\pm 0\text{dB}$)、右方向でゲイン・ブースト (Max $+20\text{dB}$)、左方向でゲイン・カット (Max -20dB) となります

Output

本機の実出力端子です。アンプや他のエフェクターへ接続します。

True Bypass

パラメトリック・イコライザーをオン / オフします。LED が点灯しているとき、パラメトリック・イコライザーが効いています。本機はバイパス時、インプット・シグナルをスルー出力するトゥルー・バイパス機構を採用しています。

Battery

裏パネルを外すと 006P バッテリーが交換できます。

Specifications

入力インピーダンス:	470k オーム
出力インピーダンス:	1k オーム以上
周波数コントロール:	150Hz ~ 8kHz
ゲインコントロール:	$\pm 20\text{dB}$
消費電流:	15mA
持続時間:	40 時間 (アルカリ電池使用、終止電圧 5.4V) 32 時間 (マンガン電池使用、終止電圧 5.4V)

Frequency

イコライザーの中心周波数を決定します。このノブで指定した周波数を中心に Q ノブで指定した幅のイコライジングが施されます。右に回すと高音域へ、左に回すと低音域へイコライザーを移動させます。

Input

本機の入力端子です。楽器をモノラル・フォーンケーブルで接続します。このジャックにプラグが接続されると本機の電源がオンになります。LED が消灯していても電力は消費していますので、ご利用にならないときはプラグを外してください。

DC IN

市販のパワーサプライを接続し、本機に電源を供給するための DC 端子です。本機には 006P バッテリーが入っており、電池駆動もできます。この端子に DC プラグが接続されるとバッテリーは消耗しなくなります。

推奨パワーサプライ:

- ・ VOCU AA Power Plant [DC5V ~ 12V, 800mA 以上]
¥16,800(税込み)
- ・ DigiTech PS-200R [DC9.6V, 300 mA] ¥2,625(税込み)



使い方のポイント

ターゲットの周波数を探る最も簡単な手順は、Q ノブを右全開 (Narrow)、Gain ノブを右全開 (Boost) にセットして Freq ノブを動かしてみることです。この状態ではワウ・ペダルのようにピンポイントの周波数が移動するため効果が非常にわかりやすくなります (このままのセッティングでワウを利用したミッド・ブースター的な利用方も有効です)。狙った周波数を見つけたら、Q ノブを左 (Wide) に戻していったゲイン・コントロールする EQ の幅を探ります。あまり広くしすぎると全体の周波数が変化するので効果がわかりづらくなります (これを利用してゲイン・ブースターのように利用しても良いでしょう)。最後に Gain ノブを調整すれば終わりです。ゲイン・ブーストで、強調したい周波数がうまく前に出てこない場合には、思い切って狙った周波数の周辺をゲイン・カットしてみてください。不要な周波数帯が減衰することで、他の周波数帯が前に出てきます。



有限会社ヴォークユ www.vocu.jp

171-0031 東京都豊島区目白 4-36-6-302
03-3950-5936 / support@vocu.jp